



毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から  
ちょっといい話をお届けします。



すぎなみ学倶楽部HPへ

## アンネ・フランクのバラ

【アンネの日記】で知られるアンネ・フランクは、第二次世界大戦時にナチス・ドイツの迫害から逃れて隠れ家生活を送り、平和な社会の実現を願いながら強制収容所で15歳の命を落としたユダヤ人の少女です。そのゆかりあるバラが、約90年前から高井戸中学校で大切に育てられていることを、ご存じでしょうか。

高井戸中学校の校門から玄関まで続く花壇に植えられている「アンネ・フランクのバラ」は、戦後ベルギーの園芸家からアンネの父オットー氏に捧げられた由緒ある品種です。昭和51年、国語の授業で『アンネの日記』を読み、戦争と平和について深く学んだ高井戸中学校の生徒たちがバラの存在を知り、「自分たちが平和を願うシンボルとして校庭に植えたい」とオットー氏に願い出て苗を譲り受けました。

スイスから運ばれた最初の3株が植えられたのは、偶然にもアンネの誕生日。それ以来、学校と地域が協力して咲かせ続けてきました。現在は120株を超えるバラが見事な花をつけ、毎年5月と10月に一般に公開されています。



コンプライ  
アンス  
NANA!

すぎなみ学

検索

アンネのバラは区内の小中学校をはじめ、全国の学校に株分けされています。

読書の森公園の開園時にも記念植樹され、平成24年には杉並区制施行80周年記念切手の図案になるなど、平和と人権尊重を願う杉並区のシンボルとなっています。

平和を願う人々の善意が咲かせたアンネのバラ。興味を持った方は、ぜひウェブサイト「すぎなみ学倶楽部の歴史コーナー『高井戸中学校 アンネ・フランクのバラ』」をお読みください。(な)

すぎなみ学倶楽部ホームページ▷杉並の歴史を学ぶ▷高井戸中学校 アンネ・フランクのバラ

国産業振興センター観光係 ☎5347-9184



毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から  
ちょっといい話をお届けします。



すぎなみ学倶楽部HPへ

## 杉並みやげに！ なみすけグッズ

杉並区の公式アニメキャラクター、なみすけ。平成18年8月に公募で選ばれて以来、多くの方々に愛されている杉並の「ご当地キャラ」です。区の施設や刊行物をはじめ、地域や商店街、学校など、今や生活のさまざまな場面で出会える人気者になりました。なみすけはスギナミザウルス島からやって来た、リンゴが大好きな妖精。趣味は散歩と人間観察で、妹のナミーと一緒に杉並の話題のスポットやイベントを探検しているとか。今日もかわいいクリクリお目目と、のんびりした雰囲気、区民と区をやさしくつないでいます。

身近にかわいがっていただくために登場した「なみすけグッズ」は当初、ぬいぐるみ、ストラップ、ハンドタオルの3種類でしたが、今はミニトートバッグ、缶バッジ、

12種類のデザインから選べるマグネット、きらきら光るギターピック型のストラップなど、新しいアイテムがどんどん登場しています。ふりかけやゴーフレットなどの食品もあり、手頃な杉並みやげとして好評です。なみすけグッズは、杉並区役所中棟1階ロビーにあるコミュかるショップなどで販売しています。区役所を訪れた際は、ぜひ気軽に立ち寄ってお気に入りを見つけてください。

現在発売中のなみすけグッズは、ウェブサイト「すぎなみ学倶楽部」で紹介されています。公式ブログ「てくてく×なみ

すけ」<http://namisuke.com/>では趣味が散歩のなみすけの様子や4コマ漫画になったなみすけをご覧になれます。サイトを見て、なみすけを応援してくださいね。

(な)



ウェブサイト  
もあふよ！

すぎなみ学

検索

すぎなみ学倶楽部ホームページ▷B級雑学▷杉並みやげ▷(4)なみすけグッズ

産産業振興センター観光係 ☎5347-9184



毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から  
ちょっといい話をお届けします。



すぎなみ学倶楽部HPへ

## 夏！プールだ！ ヤゴ救出大作戦！

梅雨が明け、子供たちの笑い声がひと  
きわ賑やかに聞こえてくると、もうすぐ  
夏本番！ 太陽の下、プールでひと泳ぎ  
したくなりませんか？ 区内にある半数  
ちかくの小学校では、プール開きの清掃  
前に「ヤゴ救出」活動  
が行われています。一  
昔前まで屋外プールで  
ふ化したヤゴ（トンボ  
の幼虫）は、そのまま  
下水に流されていたの  
ですが、平成12年頃か  
ら環境学習の一環とし  
て「ヤゴ救出」がスタ  
ート。昨年度は20校が  
実施しました。

6月上旬ごろ、児童  
たちが膝下まで水を抜いたプールに入  
り、網などでヤゴをすくいます。助けた  
ヤゴは種類や数を集計。救出後は、学校  
の教室や児童の家庭で羽化するまで育て  
ます。そのため、区内のペットショップ

ではこの時期エサのアカムシを購入する  
親子が増えるとか。育てた子供たちから  
は「朝起きたら家のカーテンにトンボが  
とまっていてビックリした」「元気なトン  
ボになってよかった」という声が聞かれ  
ました。

きれいになったプー  
ルは授業で使われるだ  
けでなく、夏休みに一  
般開放している学校も  
あります。ウェブサイト  
「すぎなみ学倶楽部」  
では、今年も区立小中  
学校のプール無料開放  
日程を7月上旬頃に掲  
載予定。また、区内の  
有料プールや水遊びが

できる公園情報なども紹介しています。  
自然・環境ページの「杉並とトンボ」記  
事と合わせて、ぜひご覧ください。今年  
の夏は、あなたも「泳げ！杉並人」にな  
りませんか。 (り)



ヤゴと  
子供たちもニコニコだよ！

ウェブサイト  
もあるよ！

すぎなみ学

検索

● [すぎなみ学倶楽部ホームページ](#)

▷ [自然・環境▷杉並のトンボ ヤゴ救出大作戦](#)

▷ [杉並でスポーツ▷水泳 泳げ！杉並人▷\(5\)目  
的別・杉並区内プール選び](#)



毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から  
ちょっといい話をお届けします。



すぎなみ学倶楽部HPへ

## 太宰の好物を再現！ 区民ライター活躍中！

小説家・太宰治が一時期天沼のアパートに暮らしていたことをご存じの方はいらっしゃると思います。しかし、彼がよく食したというパンのエピソードが、彼の知人で作家の伊馬春部が昭和11年に書いた日記に「(荻窪の)小沢パンにて彼がよく食べているステッキパン、ラスクパン、カタパンを買ひ、太宰を訪ね…(『櫻桃の記』中公文庫)原文まま」と記されていることをご存じの方は少ないことでしょう。

当時の「ステッキパン」とはいったいどんなものだったのでしょうか。普段は「すぎなみ学倶楽部」の取材や執筆、写真撮影を主な活動としている区民ライターが、この「幻の味」を再現すべく、「杉並名品復活プロジェクト」を企画提案。当時の文献からヒントを探し、とうとう昭和初期の荻窪の地図の中にエピソードに登場する「小沢パン」を発

見しました。そしてその時代に一般的に流通されていたであろうパンの原材料を調査し、かつての「小沢パン」付近にあるベーカリー「吟遊詩人」の協力を得て「太宰治が愛したステッキパン」の再現にこぎ着けました。週末限定で販売も開始しています。さらに「ステッキパン」にとどまらず、惜しまれつつ閉店した高円寺「愛川屋」の薩摩揚げや、阿佐ヶ谷で人気だった骨付き肉など、区民ライターが商品化に一役買って、商店やまちの活性化につなげています。

区にはまちを盛り上げる活動に積極的な区民ライターが現在40名ほど登録されています。あなたも区民ライターとして杉並の魅力を発信してみませんか。区民ライター養成講座は8月からすぎなみ地域大学で開講します。ご参加をお待ちしています。(泉)



ウェブサイト  
もあるよ!

すぎなみ学

検索



毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」からちょっといい話をお届けします。



すぎなみ学倶楽部HPへ

## 着物の魅力を今に 歴史を繋ぐ和裁士

夏祭りや花火大会など、この時期浴衣を着る機会も増えますね。阿佐谷の老舗呉服屋「越後屋」のご主人によると、杉並には呉服屋が「戦前は20軒以上、小間物屋や履物屋なども含めれば40軒以上」あり、それぞれにお抱えの和裁士がいて、誰もがごく普通に着物の仕立てを頼んでいたそうです。やがて時代とともに着物を着る習慣も薄れ、呉服屋は数軒、和裁士も少なくなりました。しかしそのような時代にも若い世代の和裁士が阿佐谷で活躍しています。岩田美穂さん。専門学校で和裁を学び、仕立て屋での修行を経て、国家資格の和裁技能検定2級を取得しました。そして26歳で独立した後、若手の登竜門「全国和裁技術コンクール」全国大会で銀賞を受賞。現在は和裁の仕事をする

傍ら、専門学校の講師として、和裁技能検定を受ける生徒に試験対策などを教えています。

そんな実力者ながら、取材にジーンズ姿で気さくに答える岩田さんは、和裁より編み物が似合いそうな可愛らしい女性です。「着物の母から娘へと代々受け継がれ、大切にされ、歴史がしみ込んでいく感じが好き」とにっこり。現代の子供たちが着物に触れる機会を持てるよう、学校の授業でも着物について学べる環境があればと願っているそうです。

では和裁士はどのように着物を仕立てるのでしょうか？「すぎなみ学倶楽部」では、区民ライターが岩田さんに着物の仕立てを依頼し、反物が美しい着物へと変わる様子を紹介しています。ぜひご覧ください。(り)



ウェブサイト  
もあるよ!

すぎなみ学

検索

すぎなみ学倶楽部ホームページ▷杉並の歴史を学ぶ▷記憶に遺したい杉並の職、商売▷(6)和裁士

産業振興センター観光係 ☎5347-9184



毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から  
ちょっといい話をお届けします。



すぎなみ学倶楽部HPへ

## 杉並から世界に輝け！ ♪活躍する女性音楽家

芸術の秋、杉並区は日本フィルハーモニー交響楽団と友好提携を結んでおり、杉並公会堂を中心に、身近な場所でオーケストラの演奏に親しむことができます。「荻窪音楽祭」は地域に定着し、また「阿佐谷ジャズストリート」は今年で20回目を迎えました。今回は、杉並に暮らす2人の女性アーティストを紹介します。

1人目は、阿佐谷在住のジャズ・ボーカリスト、豊田チカさん。包容力ある歌声で国内外のファンを魅了してきました。25年には日本ジャズボーカル大賞を受賞し、ジャズ評論家でもあった父・大橋巨泉さんとデュエットCDをリリース。今年は、阿佐谷の子供たちと協力して福島県の復興支援を目的としたCDを制作し、阿佐谷ジャズストリートにも出演予定と、活躍中

です。

2人目は、杉並が生んだ才能ある若手バイオリニスト、城戸かれんさん。桃井第五小学校時代から音楽の才能を発揮し、高校1年生のとき日本音楽コンクールで2位を受賞。現在は東京藝術大学で学びながら、全国各地のコンサートで美しい音色を響かせています。区内でも、杉並公会堂や区役所ロビーで日本フィルと共演。将来有望なアーティストです。



ウェブサイト  
もあるよ！

すぎなみ学

検索

の歩んできた音楽人生や現在の活動について紹介しています。あわせて、荻窪音楽祭の紹介記事など、芸術の秋にふさわしい杉並の音楽情報が満載。ぜひご覧ください。(な)

すぎなみ学倶楽部ホームページ▷杉並の人々▷道を求め、極める 一筋の道を求める人

〒産業振興センター観光係 ☎5347-9184



毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から  
ちょっといい話をお届けします。



すぎなみ学倶楽部HPへ

## 地域とコラボ！ 大学の学園祭へ行こう！

皆さんは区内に、いくつ大学があるかご存じですか？ 答えは、女子美術大学・女子美術大学短期大学部、高千穂大学、東京女子大学、東京立正短期大学、明治大学、立教女学院短期大学の6つです。

これらの大学では地域に根差した活動が活発で、特に杉並区との協働の協定(注)に基づく事業として、区民が利用できる大学図書館の閲覧・貸し出しサービスは、ご存じの方も多いかと思います。震災時には「南相馬市支援チャリティーバザー」を実施し、昨年からは大学と地域の連携を伝える情報紙「すぎ☆キャン!」を発行するなど、取り組みは多岐にわたっています。

そして秋といえば、学園祭。地域と大学のつながりを身近に感じられる絶好の機会で

す。例えば、東京女子大学の「VERA祭」(今年は11月8日・9日開催)では、期間限定で、地元・西荻窪のお店とコラボした商品を企画・販売しています。これまでに焼

き菓子店のラスクや、和菓子屋のどら焼きなどが登場。学生さんに可愛らしくラッピングされたおいしいお菓子は、毎年大好評。地域経済の振興にも一役買っているといえるでしょう。今年は、どんなコラボ商品が生まれ出されるのか楽しみです。

すぎなみ学倶楽部で

は、杉並区内の学園祭情報を掲載中です。ぜひ、サイトをチェックして、キャンパスに足を運んでみてください。(な)

(注)『杉並区と区内高等教育機関との連携協働に関する包括協定書』(平成23年12月締結)



ウェブサイト  
もあるよ!

すぎなみ学

検索

すぎなみ学倶楽部ホームページ▷特集▷杉並の教育▷(6)

産産業振興センター観光係 ☎5347-9184



毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」からちょっといい話をお届けします。



すぎなみ学倶楽部HPへ

## 秋冬の夜を彩る イルミネーション

秋も深まり、夜景に輝くまちの光が暖かく感じませんか？ 区内でも、紅葉や来る冬を彩るライトアップやイルミネーションをさまざまな所で見ることができます。

荻窪駅南側にある大田黒公園のライトアップは毎年恒例行事となり、池に映しだされた幻想的な紅葉を楽しむに待っている方も多いのではないのでしょうか。今年の開催時期は11月28日(金)～12月7日(日)です。

高円寺駅南口広場では11月22日(土)にイルミネーションの点灯式が行われ、輝くツリーには、杉並第八小学校の子供たちの夢が飾られます(点灯期間は11月22日(土)～27年2月15日(日))。また、駅前の特設ステージでは22日(土)・23日(祝)に「串串パト

ル」のイベントや近隣小中学校のブラスパンドの演奏を予定しています。

久我山駅周辺の「ピカピカ祭り」も見逃せません。今年も11月30日(日)の開幕は多彩なイルミネーションの点灯式、ミニコンサートなど、訪れた皆さんがハッピーになれるようなイベントが準備されています。楽しみですね。

永福町駅ビルの屋上庭園「ふくにわ」でも、クリスマスイルミネーションが施され、空気が澄んでいるこの時期、新宿高層ビル群や東京タワー

などの夜景と一緒に楽しむことができます(点灯期間は11月15日(土)～27年1月末)。

身近で鑑賞できる幻想的な世界を楽しんでみませんか。(り)



ウェブサイト  
もあるよ!

すぎなみ学

検索





毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から  
ちょっといい話をお届けします。



すぎなみ学倶楽部HPへ

## 大みそかに杉並区内で 除夜の鐘をつける寺

新しい年を迎える準備をしながら、行く  
年を振り返って懐かしむ、年の瀬は慌ただ  
しくも切ないものです。皆さんは年越しを  
どこで迎えますか？

世界中にはさまざまな年越しの風習があ  
りますね。日本では、年越しを荘厳な鐘の  
音で迎えるという、厳  
かな風物詩があります。

普段は夜間に門を閉  
ざす寺も、大みそかだ  
けは開放し、参詣者が  
鐘をつくことができる  
寺もあります。区内の  
代表的な寺は、京王井  
の頭線永福町駅下車徒  
歩5分の「龍光寺」、J  
R荻窪駅南口下車徒歩  
15分の「中道寺」。共になるべく多くの希望  
者に鐘をついてもらいたいと108回にこだ  
わらないそうです。

JR荻窪駅西口北側下車徒歩3分の「光明  
院」では、大みそかの午後10時から受け付  
け開始、ご祈願料1000円で番号札（108枚ま  
で）とおみやげ袋を配布します。

東京メトロ丸ノ内線東高円寺駅下車徒歩  
15分の「妙法寺」。区外からも参詣者が多く、

恒例の長い行列がで  
きますが、除夜の鐘は午  
前2時ごろに打ち止め  
になるので早めに出掛  
けた方がよさそうです。

すぎなみ学倶楽部で  
は、お寺で行われる催  
しの参加方法の詳細を  
紹介しています。お寺  
によって異なるので、  
ぜひご覧ください。

毎年どこからか聞こえる鐘の音を、今年  
は自分の手で響かせてみてはいかがですか  
？ よいお年を！ (り)



ウェブサイト  
もあるよ！

すぎなみ学

検索

すぎなみ学倶楽部ホームページ▷文化・雑学▷寺社

問産業振興センター観光係☎5347-9184



毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から  
ちょっといい話をお届けします。



すぎなみ学倶楽部HPへ

## バレンタインに贈る とっておきのスイーツ

意中の人にチョコレートを渡して愛を告白——“恋の一大イベント”としてのバレンタインデーも今は昔。最近では頑張った自分への「ご褒美チョコ」や友人同士で贈り合う「友チョコ」など、思い思いに楽しむ季節の風物詩になっていますね。

今回は区内にある個性的なバレンタインスイーツをご紹介します。

新高円寺駅近くの「ステカ&モジヨル」では、砂糖と卵白でできたクリームでデコレーションした「アイシングクッキー」を作る教室「アイシングクッキー for バレンタイン」を毎年開催しています。少人数制で、パティシエが考えたオリジナルのバレンタインクッキーが作れます。教室以外でもハート柄、動物柄、花柄等、可愛くてカラフルなアイシングクッキーを販売しています。

変わり種では、西永福駅すぐのケーキ店「ブルボン」。バレンタイン特別企画として「トマトショコラ」を販売しています。ドライトマトをチョコレートでくるみ、カカオをまぶした新発想のチョコは、甘さの中にほんのりと酸味が利いて、トマトが苦手な

方にも味わっていただける仕上がり。ワインにも合いそうですね。

和菓子屋さんでもバレンタインギフトに力を入れているところがあります。西荻窪の老舗「三原堂」の「バレンタイン・バッグ」は、シックな手提げ袋の中に、餡と皮にオレンジキュールのグ



ウェブサイト  
もあそびよ!

すぎなみ学

検索

ランマルニエが入ったどら焼きと、カカオ入り和三盆糖などが入ったスペシャルパッケージです。すぎなみ学倶楽部では、区内でスイーツが買えるお店約40店を写真入りで紹介しています。(館)

すぎなみ学倶楽部ホームページ▷食▷スイーツ

閩産業振興センター観光係 ☎5347-9184



83

毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から  
ちょっといい話をお届けします。



すぎなみ学倶楽部HPへ

## 杉並で越冬する野鳥と 「野鳥の父」中西悟堂

善福寺川や神田川、善福寺公園や和田堀公園など良好な水辺環境に恵まれた杉並区では、数多くの野鳥を見ることができます。

一年中いる「留鳥(りゅうちょう)」は、住宅街でも見かけるキジバト、スズメ、ムクドリなどです。それに対し、秋に北の地域から渡ってくるマガモやオナガガモなどのカモ類やツグミは「冬鳥」で、いわゆる渡り鳥です。区内の川辺や公園で、写真や絵による案内看板を見かけるのは野鳥の豊かさ故といえそうです。

昨年創立80周年を迎えた「日本野鳥の会」の創設者である中西悟堂氏(以下敬称略)は、「野鳥の父」と呼ばれ、知る人ぞ知る杉並ゆかりの偉人です。悟堂は、石川県金沢市に生まれ、縁あって

当時井荻町の善福寺池のほとりで暮らし、この地で野鳥の観察を本格的にするようになりました。やがて「日本野鳥の会」の発足を経て、野鳥保護運動に携わりました。悟堂の半生は、そのまま日本中に広まった「野鳥の保護」の歴史でもあります。

現在、悟堂の思いは脈々と引き継がれ、昨年11月30日には、日本野鳥の会創立80周年記念探鳥会「善福寺公園探鳥会」が開催されました。

すぎなみ学倶楽部では、「ゆかりの人々 知られざる偉人」で中西悟堂の野鳥に捧げたその半生を紹介しています。また、

「自然」では季節ごとに見られる「杉並の野鳥」を30種類以上紹介しています。春まだ浅いこの時期、野鳥を見つけて季節を感じてみませんか。(り)



ウェブサイト  
もあるよ!

すぎなみ学

検索

すぎなみ学倶楽部ホームページ

▷ゆかりの人々▷知られざる偉人  
▷自然▷野鳥▷杉並の野鳥

問産業振興センター観光係 ☎5347-9184



毎月21日号は、「すぎなみ学倶楽部」から  
ちょっといい話をお届けします。



すぎなみ学倶楽部HPへ

## 区内のまち歩きと 桜の名所散策

暖かな風や日差しを感じ、散策するのに気持ちが良い季節になってきました。春を探しに、区内を巡ってみてはどうでしょうか。これまでに気付かなかった、新しいお気に入りのスポットに出会えるかもしれません。

「すぎなみ学倶楽部」では、区内のお散歩コースを紹介しています。在住外国人の視点から見た区内の見どころや、杉並ゆかりの著名人が案内するおすすめの場所など、バラエティーに富んだまち歩き記事を掲載

中。中でもコラムニスト・泉麻人さん特別寄稿のお散歩コースは、杉並区と中野区の区境周辺にフォーカスしたものです。方南町から東高円寺を歩くコースを、泉さんならではの視点

で楽しく紹介しています。

そして何といたってもお花見スポット！  
「すぎなみ学倶楽部」の特集コーナーでは、

区内の桜の名所を約20カ所紹介しています。善福寺川や神田川などの遊歩道、大宮八幡宮、井草八幡宮、善福寺公園はもちろん、下井草駅前のように、2本の桜の大木が、地元のシンボルになっているポイントをピックアップ。さらに、トップページでは、3月中旬から区内の代表的なお花見スポッ

トの開花状況を、写真で日々更新しています。地図を片手に、お花見スポットや、普段足を運ばないエリアの散策をゆっくりと楽しんでみてはいかがでしょうか。（や）



ウェブサイトを  
めぐるよ!

すぎなみ学

検索

すぎなみ学倶楽部ホームページ

▷文化・雑学▷杉並まちあるき  
▷特集▷お花見ポイント

国産産業振興センター観光係 ☎5347-9184